

講義番号	授業科目名		国際取引法特論 B		担当教員		吉田 一康	
	英語授業科目名	International Business Law B			単 位	2	学 期	後期
対象年次	1・2 年次		クラス指定		他との関連			
履修条件	法律と英語の基礎的な知識を有し、法律英語に興味があることが望ましい。							
テーマ・副題	英文契約書の理解							
授業の教育目的・目 標	(1) 国際取引法の各論の理解 (2) 英文特許実施許諾契約書の理解							
授業の理解度の到達目標	(1) 英文特許実施許諾契約書の内容を理解できること。 (2) 国際投資や国際合弁事業などに関する法律について理解すること。							
授業キーワード	国際取引法、インターネット法、特許実施許諾契約							
授業の内容	国際取引法の概略を説明するとともに、今後、益々重要性が増してくると思われる英文契約書を理解するために、英文特許実施許諾契約書を教材として分かり易く解説します。							
授業の方法	(1) 50～60 分 レジュメを使用した講義 (2) 30～40分 練習問題、質問、討議							
授業展開	(1) 講義紹介 講義内容・成績評価等について説明します。 (2) 事例問題 前期の復習も兼ねて国際取引に関する事例問題と解答を行い、紛争解決システムの概略を説明します。 (3) 各国法の概要 世界の主要な法体系について説明します。 (4) 申込みと承諾 国際取引契約締結のための隔地者間の申込みと承諾について説明します。 (5) インターネット法 自宅に居ながらにして国際取引に参入可能なインターネット取引に関する法律について説明します。 (6) 国際海上物品運送 輸出入品の海上輸送に関する法律等について説明します。 (7) 国際海上貨物保険 輸出入品の海上輸送の際、付保する保険に関する法律等について説明します。 (8) 各国の習慣など 交渉や営業のため海外滞在時に留意すべき、日本と異なる各国の文化・習慣などについて説明します。 (9) 合弁事業 外国の当事者を含む複数が協力して行う事業に関する法律等について説明します。 (10) 産業財産権（国際的観点） 日米欧の産業財産権の概略について説明します。 (11) 著作権（国際的観点） 著作権に関する条約、法律及び国際的動向について説明します。 (12) 国際投資 日本から国際投資する場合、関係する法律や用語などについて説明します。 (13) 法律英語 特に米国の陪審員裁判で使用される法律英語について、理解します。 (14) 英文特許実施許諾契約書① 典型的な英文特許実施許諾契約書の前半部分の「定義」や「実施許諾」などの基本事項について説明します。 (15) 英文特許実施許諾契約書② 典型的な英文特許実施許諾契約書の後半部分の「準拠法」や「無効規定」などの基本事項について説明します。							
成 績 評価方法	(1) 積極性 30～40% (2) 筆記試験 60～70%							
成 績 評価基準	A 80%以上 B 70～79% C 60～69% D 59%以下（不合格）							
テキスト	毎回、レジュメと練習問題を配布し、テキストは特に使用しません。							
参考図書	佐野寛「国際取引法」（第4版）有斐閣 2014 年（2500 円＋税） 岩崎一生「英文契約書」 同文館 2001 年 （2800 円＋税）							
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	(1) 各講義の内容に関する参考図書の該当箇所を読むこと（1 時間程度）。 (2) 各講義の内容に関するニュースを、新聞やインターネットなどで見た場合は、読んで概要を説明できるようにすること。							
学生へのメッセージ	元気があれば何でもできる！							
オフィスアワー	毎週、講義日は、新町キャンパス（講義室、講師控室など）にあります。							
連 絡 先	電話番号	0270-32-1011(代)802号（伊勢崎）		メールアドレス：	yoshidai@ic.jobu.ac.jp			
人数制限	なし							